

認 定 書

国 住 指 第 1 3 6 1 号
令 和 元 年 9 月 2 日

一般社団法人日本壁装協会
代表理事 安田 正介 様

国土交通大臣 石井 啓



下記の構造方法等については、建築基準法第 68 条の 25 第 1 項（同法第 88 条第 1 項において準用する場合を含む。）の規定に基づき、同法施行令第 1 条第五号及び第 108 条の 2 第一号から第三号まで（準不燃材料）の規定に適合するものであることを認める。

記

1. 認定番号
QM-0963
2. 認定をした構造方法等の名称
植物系繊維混紡織物壁紙張／基材（準不燃材料及び不燃材料（金属板を除く））
3. 認定をした構造方法等の内容
別添の通り

（注意）この認定書は、大切に保存しておいてください。

1. 材料名

植物系繊維混紡織物壁紙張／基材（準不燃材料及び不燃材料（金属板を除く））

2. 形状及び寸法等

項 目	仕 様
形 状	平板
表 面 形 状	(1)～(3)のうち、いずれか一仕様又は組合せとする (1) 平滑 (2) 粗面 (3) エンボス
表面化粧材の厚さ(mm)	5.0 _{±0.5} 以下
表面化粧材の質量(g/m ²)	2000.0 _{±200.0} 以下

3. 材料構成

項 目	仕 様
表面化粧材	<p>植物系繊維混紡織物壁紙</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 厚さ5.0_{±0.5} mm以下 ・ 質量2000.0_{±200.0} g/m²以下 (有機質量255.0_{±25.5} g/m²以下) ・ 構成 <ul style="list-style-type: none"> [1] 化粧：(1)～(3)のうち、いずれか一仕様又は(1)と(2)の組合せとする <ul style="list-style-type: none"> (1) 合成樹脂：(1)、(2)のうち、いずれか一仕様とする <ul style="list-style-type: none"> 1) 合成樹脂 ([2] 主素材が(1)の場合に限る) <ul style="list-style-type: none"> ・ 質量1580.0_{±158.0} g/m² (固形量) 以下 (有機質量40.0_{±4.0} g/m²以下) ・ 構成 (g/m³) <ul style="list-style-type: none"> 合成樹脂※¹、有機質系添加剤※²、有機質系顔料※³…40.0_{±4.0}以下 (但し、合成樹脂としてポリエステルを使用する場合は 32.0_{±3.2} 以下とする) 無機質系材料、無機質系充てん材、 無機質系顔料、無機質系添加剤※⁴ …0～1540.0_{±154.0} 2) 合成樹脂 ([2] 主素材が(2)の場合に限る) <ul style="list-style-type: none"> ・ 質量1534.0_{±153.4} g/m² (固形量) 以下 (有機質量15.0_{±1.5} g/m²以下) ・ 構成 (g/m³) <ul style="list-style-type: none"> 合成樹脂※¹、有機質系添加剤※²、有機質系顔料※³…15.0_{±1.5}以下 (但し、合成樹脂としてポリエステルを使用する場合は 12.0_{±1.2} 以下とする) 無機質系材料、無機質系充てん材、 無機質系顔料、無機質系添加剤※⁴ …0～1519.0_{±151.9} (2) 撥水剤 <ul style="list-style-type: none"> ・ 構成：(1)、(2)のうち、いずれか一仕様又は組合せとする <ul style="list-style-type: none"> 1) パラフィンワックスの水系乳化体 2) フッ素樹脂 ・ 質量5.0_{±0.5} g/m² (固形量) 以下 (有機質量5.0_{±0.5} g/m²以下) (3) なし

項 目	仕 様
表面化粧材 (つづき)	<p>[2] 主素材^{※5}：(1)、(2)のうち、いずれか一仕様とする</p> <p>(1) 植物系繊維^{※6}混紡織物</p> <ul style="list-style-type: none"> ・厚さ$2.0_{\pm 0.2}$mm以下 ・質量$220.0_{\pm 22.0}$g/m²以下(有機質量$110.0_{\pm 11.0}$g/m²以下) ・組成(質量%) <ul style="list-style-type: none"> 植物系繊維^{※6} 50～100 合成樹脂繊維^{※7} 0～30 絹(シルク) 0～30 無機質系繊維^{※8} 0～50 <p>(2) 植物系繊維^{※6}混紡織物</p> <ul style="list-style-type: none"> ・厚さ$2.0_{\pm 0.2}$mm以下 ・質量$266.0_{\pm 26.6}$g/m²以下(有機質量$133.0_{\pm 13.3}$g/m²以下) ・組成(質量%) <ul style="list-style-type: none"> 植物系繊維^{※6} 50～100 合成樹脂繊維^{※7} 0～30 絹(シルク) 0～30 無機質系繊維^{※8} 0～50 <p>[3] 接着剤^{※5}：(1)、(2)のうち、いずれか一仕様とする</p> <p>(1) あり</p> <ul style="list-style-type: none"> ・仕様：1)～5)のうち、いずれか一仕様とする 1) エチレン酢酸ビニル系樹脂 <ul style="list-style-type: none"> ・質量$45.0_{\pm 4.5}$g/m²以下(有機質量$35.0_{\pm 3.5}$g/m²以下) ・構成(g/m²) <ul style="list-style-type: none"> エチレン酢酸ビニル系樹脂 $35.0_{\pm 3.5}$以下 有機質系添加剤^{※2} $0\sim 3.0_{\pm 0.3}$ 無機質系充てん材^{※4}、無機質系添加剤^{※4}... $0\sim 10.0_{\pm 1.0}$ 2) 酢酸ビニル系樹脂 <ul style="list-style-type: none"> ・質量$45.0_{\pm 4.5}$g/m²以下(有機質量$35.0_{\pm 3.5}$g/m²以下) ・構成(g/m²) <ul style="list-style-type: none"> 酢酸ビニル系樹脂 $35.0_{\pm 3.5}$以下 有機質系添加剤^{※2} $0\sim 3.0_{\pm 0.3}$ 無機質系充てん材^{※4}、無機質系添加剤^{※4}... $0\sim 10.0_{\pm 1.0}$ 3) でん粉系のり <ul style="list-style-type: none"> ・質量$45.0_{\pm 4.5}$g/m²以下(有機質量$35.0_{\pm 3.5}$g/m²以下) ・構成(g/m²) <ul style="list-style-type: none"> でんぷん $35.0_{\pm 3.5}$以下 有機質系添加剤^{※2} $0\sim 3.0_{\pm 0.3}$ 無機質系充てん材^{※4}、無機質系添加剤^{※4}... $0\sim 10.0_{\pm 1.0}$ 4) 酢酸ビニル・アクリル系樹脂 <ul style="list-style-type: none"> ・質量$45.0_{\pm 4.5}$g/m²以下(有機質量$35.0_{\pm 3.5}$g/m²以下) ・構成(g/m²) <ul style="list-style-type: none"> 酢酸ビニル・アクリル系樹脂 $35.0_{\pm 3.5}$以下 有機質系添加剤^{※2} $0\sim 3.0_{\pm 0.3}$ 無機質系充てん材^{※4}、無機質系添加剤^{※4}... $0\sim 10.0_{\pm 1.0}$

項 目	仕 様
表面化粧材 (つづき)	<p>5) アクリル系樹脂</p> <ul style="list-style-type: none"> ・質量 $45.0_{\pm 4.5}$ g/m²以下 (有機質量 $35.0_{\pm 3.5}$ g/m²以下) ・構成 (g/m²) <ul style="list-style-type: none"> アクリル系樹脂…………… $33.0_{\pm 3.3}$以下 有機質系添加剤^{※2}…………… $0\sim 3.0_{\pm 0.3}$ 無機質系充てん材^{※4}、無機質系添加剤^{※4}… $0\sim 10.0_{\pm 1.0}$ <p>(2) なし ([4] 裏打材が (2) の場合に限る)</p> <p>[4] 裏打材^{※9}：裏打紙</p> <p>(1)、(2) のうち、いずれか一仕様とする</p> <p>(1) あり</p> <ul style="list-style-type: none"> ・厚さ $0.5_{\pm 0.05}$ mm以下 ・質量 $150.0_{\pm 15.0}$ g/m²以下 (有機質量 $65.0_{\pm 6.5}$ g/m²以下) ・構成 (g/m²)：1) 又は1) と2) を組合せた仕様とする <ul style="list-style-type: none"> 1) 有機質：①、②のうち、いずれか一仕様とする <ul style="list-style-type: none"> ① 有機質系繊維^{※10} … $65.0_{\pm 6.5}$以下 (但し、合成樹脂繊維^{※7}と植物系繊維^{※6}を組合せて使用 する場合は、合成樹脂繊維^{※7} $15.6_{\pm 1.6}$以下とし、かつ有機質量を $52.0_{\pm 5.2}$以下とする。) ② 合成樹脂^{※1}… $8.8_{\pm 0.9}$以下 有機質系繊維^{※10} … $46.0_{\pm 4.6}$以下 (但し、合成樹脂^{※1}を使用する場合、有機質量を $47.0_{\pm 4.7}$以下とする。 有機質系繊維^{※10}として合成樹脂繊維^{※7}と植物系繊維^{※6}を組合せて 使用する場合、合成樹脂繊維^{※7}は $1.0_{\pm 0.1}\sim 16.6_{\pm 1.7}$とする。) 2) 無機質：無機質系充てん材^{※4} … $0\sim 120.0_{\pm 12.0}$ <p>(2) なし ([3] 接着剤が2) の場合に限る)</p> <p>※1：合成樹脂は、エチレン・酢酸ビニル系、酢酸ビニル系、ウレタン系、アル コキシシラン加水分解縮合物系、塩化ビニル系、アクリル系、アクリルスチ レン系、シリコーン系、ポリエステル系、フッ素系のいずれか、又は組合せ とする。</p> <p>※2：有機質系添加剤は、発泡剤（アゾジカルボンアミド系、オキシビスベンゼ ンスルホンヒドラジド系）、防かび剤、エチレングリコール、有機系機能 性材料のいずれか、又は組合せとする。</p> <p>※3：有機質系顔料は、アゾ系顔料、フタロシアニン系顔料、縮合多環系顔料の いずれか、又は組合せとする。</p> <p>※4：無機質系材料、無機質系充てん材、無機質系顔料、無機質系添加剤は、酸 化チタン、酸化鉄、酸化亜鉛、カーボンブラック、マイカ、炭酸カルシウム、 タルク、水酸化アルミニウム、水酸化マグネシウム、三酸化アンチモン、ホ ウ酸亜鉛、シリカ、金属（箔、粉、糸状）のいずれか、又は組合せとする。</p> <p>※5：アゾ系、キノロン系の染料、又は有機質系顔料^{※3}、無機質系顔料^{※4}を含む場合 がある。</p> <p>※6：植物系繊維は、パルプ、綿、麻、レーヨン、スフ、キュプラ、アセテート、 セルロース系繊維のいずれか、又は組合せとする。</p> <p>※7：合成樹脂繊維は、ナイロン、ビニロン、ビニリデン、ポリ塩化ビニル、ポ リエステル、アクリル、ポリウレタンのいずれか、又は組合せとする。</p> <p>※8：無機質系繊維は、金属繊維系、ガラス繊維系、炭素繊維のいずれか、又は 組合せとする。</p> <p>※9：裏打材は、紙、無機質紙、不織布 (non woven paper) のいずれかとする。</p> <p>※10：有機質系繊維は、植物系繊維^{※6}、合成樹脂繊維^{※7}のいずれか、又は組合せ とする。</p>

項 目	仕 様
接着剤及びシーラー	<p>1)、2)のうち、いずれか一仕様とする</p> <p>1) ・質量$60_{\pm 6}\text{g/m}^2$ (固形量) 以下 (有機質量$60_{\pm 6}\text{g/m}^2$以下)</p> <p>・構成: [1] 又は [1] と [2] を組合せた仕様とする</p> <div style="display: flex; align-items: center;"> <div style="font-size: 3em; margin-right: 10px;">{</div> <div> <p>[1] でん粉系接着剤</p> <ul style="list-style-type: none"> ・質量$60_{\pm 6}\text{g/m}^2$ (固形量) 以下 (有機質量$60_{\pm 6}\text{g/m}^2$以下) ・組成 (質量%) <ul style="list-style-type: none"> でん粉のり $80_{\pm 2}$ 以上 補強剤※11 $20_{\pm 2}$ 以下 <p>(又は補強剤なし)</p> <p>[2] シーラー: 合成樹脂※12</p> <ul style="list-style-type: none"> ・質量$10_{\pm 1}\text{g/m}^2$ (固形量) 以下 (有機質量$10_{\pm 1}\text{g/m}^2$以下) </div> </div> <p>2) ・質量$40_{\pm 4}\text{g/m}^2$ (固形量) 以下 (有機質量$40_{\pm 4}\text{g/m}^2$以下)</p> <p>・構成: [1] 又は [1] と [2] を組合せた仕様とする</p> <div style="display: flex; align-items: center;"> <div style="font-size: 3em; margin-right: 10px;">{</div> <div> <p>[1] メチルセルロース系接着剤</p> <ul style="list-style-type: none"> ・質量$40_{\pm 4}\text{g/m}^2$ (固形量) 以下 (有機質量$40_{\pm 4}\text{g/m}^2$以下) ・組成 (質量%) <ul style="list-style-type: none"> メチルセルロース $80_{\pm 2}$ 以上 補強剤※11 $20_{\pm 2}$ 以下 <p>(又は補強剤なし)</p> <p>[2] シーラー: 合成樹脂※12</p> <ul style="list-style-type: none"> ・質量$10_{\pm 1}\text{g/m}^2$ (固形量) 以下 (有機質量$10_{\pm 1}\text{g/m}^2$以下) </div> </div> <p>※11: 補強剤は、エチレン酢酸ビニル樹脂エマルジョン、酢酸ビニル樹脂エマルジョンのいずれか、又は組合せとする。</p> <p>※12: 合成樹脂は、アクリル樹脂エマルジョン (アクリル酸エステル共重合体エマルジョン、メタクリル酸エステル共重合体エマルジョン)、エチレン酢酸ビニル樹脂エマルジョン、酢酸ビニル樹脂エマルジョンのいずれか、又は組合せた仕様、又はシーラーなしとする。</p>
基 材	<p>準不燃材料及び不燃材料 (金属板を除く)</p> <p>平成12年建設省告示第1401号第1第二号から第六号に例示された準不燃材料及び告示第1400号に例示された鉄鋼、金属板、アルミニウムを除く不燃材料のうち、すでに化粧を施されたものを除くもの</p>

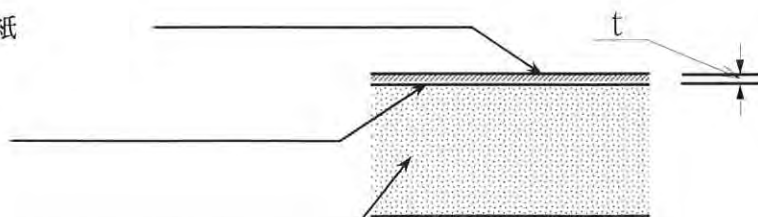
4. 構造説明図

(寸法単位: mm)

1) 表面化粧材…植物系繊維混紡織物壁紙

2) 接着剤およびシーラー…合成樹脂

3) 基 材…準不燃材料及び不燃材料 (金属板を除く)※



$t = 5.0$ 以下

※平成12年建設省告示第1401号第1第二号から第六号に例示された準不燃材料及び告示第1400号に例示された鉄鋼、金属板、アルミニウムを除く不燃材料のうち、すでに化粧を施されたものを除くもの